ぐんま子ども会

発行：公益社団法人 群馬県子ども会育成連合会 令和４年３月10日
〒371-0044　前橋市荒牧町2－12　群馬県青少年会館内
TEL 027(233)4118　FAX 027(212)6226　E -mail kenkoren@xb3.so-net.ne.jp
第110号

第27回子ども会活動体験作文コンクール受賞者

Contents

金子敏男会長あいさつ…… 2
県子連表彰式
　作文コンクール優秀賞…… 3
　県子連表彰…… 12
市町村の活動紹介コーナー…… 13
安全共済会に加入しよう…… 17
お知らせ・編集後記…… 20

会長就任あいさつと運営方針

（公社）群馬県子ども会育成連合会
会長　金子敏男

青少年の健全育成を本旨とする本連合会の飛躍と発展に多大な貢献をしてきました小島敏雄氏の後任として、このたび会長の重責を担うことになりました。

本会が目指している「子ども達の手による子ども会」を目標に組織発展のため、役員各位と連携を取りながら、微力ではありますが、努力してまいりたいと思います。今後とも皆様のご指導ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

さて、このたび公益社団法人群馬県子ども会育成連合会が創立六十周年を迎えることになりました。新法人「公益社団法人」に改組してからも八年が経過しました。新法人の改組により、課題も多く今後も群馬県・群馬県教育委員会・関係機関各位の指導とご支援を賜りながら、前進していきたいと思います。

また、各地区地域との連携を深め安全と安心で活力と魅力ある子ども会育成会活動を進めていくための事業に取り組んで参ります。明日を担う子どもたちを皆様と共に健全に育成することは大人たちの大切な責務であります。

地域の子ども会を支えてくださる育成会員や保護者の皆様をはじめ、本会に関わる多くの皆様とより一層の連絡協調を行い、子ども会活動の活性化と安全啓発の普及に努め子どもの健全育成を図っていきたいと考えています。

表彰式を実施

昨年11月７日に、群馬県青少年会館において、子ども会活動体験作文コンクール優秀賞表彰・県子連表彰式を行いました。

令和３年度　第27回子ども会活動体験作文コンクール

優　秀　賞

No.	題　　名	氏　　名	学年	市町村	所属会名
1	「なつの　おもいで」	横山（よこやま）　結月（ゆづき）	小１	富岡市	富岡地区　18Ｂ
2	「ラジオ体そうにさんかしたよ」	小暮（こぐれ）　香穂（かほ）	小２	前橋市	笂井町子ども育成会
3	「フラワーコミュニティ」	土屋（つちや）　美徳（みのり）	小３	富岡市	丹生地区 丹生子育連
4	「お祭りさわぎの夏休み」	新井琉希亜（あらいるきあ）	小４	伊勢崎市	豊受地区 三ツ橋町子ども会
5	「がんばった　はい品回しゅう」	金井（かない）　楓（かえで）	小４	富岡市	丹生地区 丹生子育連
6	「灯篭に願いを込めて」	小暮（こぐれ）　浩輔（こうすけ）	小５	前橋市	笂井町子ども育成会
7	「子供会の思い出」	伊原（いはら）　樹乃（じゅの）	小５	高崎市	上佐野第１子ども会
8	「フラワーコミュニティに参加して」	大塚（おおつか）　明衣（めい）	小５	富岡市	丹生地区 丹生子育連
9	「上毛かるた」	内藤（ないとう）みや美（みやび）	小６	高崎市	棟高子ども会
10	「フラワーコミュニティ」	渡邉（わたなべ）　心絆（ここな）	小６	富岡市	丹生地区 丹生子育連
11	「子ども会を通して」	黒澤（くろさわ）　数真（かずま）	小６	甘楽町	ポプラ子供会
12	「育成会で思い出に残ったこと」	長沼（ながぬま）　優花（ゆうか）	中１	伊勢崎市	豊受地区 下蓮町子ども会
13	「子ども会に参加して」	小原（おばら）　凛音（りおん）	中２	伊勢崎市	豊受地区 リバータウン広瀬子ども会
14	「私の出番！」 －伝統を引き継ぐ架け橋に－	諏訪（すわ）　晶子（あきこ）	中３	伊勢崎市	赤堀地区 西久保二丁目子供会
15	「楽しむこと」	本間（ほんま）　真自（しんじ）	高１	伊勢崎市	名和地区ジュニアリーダー 今井町子ども会

作文コンクール

二十七回目を迎えた子ども会活動体験作文コンクールには、二〇〇名の皆様からの応募がありました。慎重審査の結果、別表の十五名の方の作文が優秀賞となりました。

今回の広報紙では、優秀賞となった十五名の作文を紹介します。

なつの　おもいで

富岡市富岡地区　18B　一年　横山　結月

わたしは、なつやすみにかぞくではなびをしました。よるのはなびは、とてもきれいでかんどうしました。

さいきんは、コロナのえいきょうで、ともだちとあそべなかったり、おでかけやおとまりもできなくてさみしいです。コロナがおちついたら、おともだちとはなびをしたり、たくさんあそびたいです。

つぎのひにかぞくでプールあそびをしました。あさからプールをふくらませたり、プールにみずをいれてじゅんびをしました。じゅんびはとてもあつくてあせをたくさんかきました。

でも、あせをかいたぶんプールにはいったときは、とてもきもちよかったです。このままずっとプールにはいっていたくてこのままさかなになりたいとおもいました。となりにもプールをつくって、みずふうせんをたくさんつくりました。

そのみずふうせんで、おにいちゃんとなげあいをしました。みずふうせんをあてたりよけたりすることがむずかしかったです。こんどは、もっとたくさんのみずふうせんであそびたいです。

なつにしかできないあそびがたくさんできて、とてもいいおもいでになりました。いましかできないあそびをもっとさがして、たくさんおもいでをつくりたいです。

ラジオ体そうにさんかしたよ

前橋市笂井町子ども育成会　二年　小暮　香穂

わたしは、夏休みラジオ体そうにさんかしました。五時四十五分におきました。お母さんにおにぎりをつくってもらってたべました。ごはんがほっかほかでおいしかったです。あさのうんどうになるので、はしっていきました。すこしつかれましたが、あさの風は気もちがよかったです。

こうみんかんにつくと、友だちやおとなの人たちがいました。友だちと夏休みの話をしました。ラジオ体そうのきょくがながれたので、わたしはいちにつきました。さいしょの日は、ラジオ体そうをするのがひさしぶりだったので、おにいさんやお姉さんを見ながら体そうをしました。むずかしい体そうもあったけれど前の人たちを見て、一生けんめいがんばりました。手をまるくまわす体そうやジャンプしたり、しんこきゅうなど色いろな体そうをしました。わたしは、あさ体そうをしたら気もちがよくて、さわやかな気もちになりました。心がすっきりして、一日をがんばるパワーがあふれてきました。体そうをすると、こんないい気もちになるんだなと、うれしくなりました。

ラジオ体そうにきた時、はんこをおしてくれるお母さんたちがいました。その人たちは、やくいんさんで、子どもたちのためにあさ早くおきて、はんこをおしにきてくれることを、お母さんから聞いてしりました。ラジオ体そうのおわりの日にもらえるおかしも、やくいんさんが買ってきてくれて、子どもたちのためにわけてくれるそうです。わたしはそれを聞いて、もっと体そうをがんばりたいな、これからもつづけていきたいなと思いました。

コロナで色いろなちいきのぎょうじがなくなってさみしいけれど、ラジオ体そうができて、元気がでました。わたしたちのことを考えてがんばってくれた人に、ありがとうをつたえたいです。

フラワーコミュニティ

富岡市丹生地区　丹生子育連　三年　土屋　美徳

ぼくが、子いくれんの行事で一番思い出にのこったことは、フラワーコミュニティに行った事です。春にヒマワリとコスモスのたねをまき、夏には草むしりをしました。

ヒマワリのたねは、少し細長くてしましまだけど、しょうどくで青くそまっていました。コスモスのたねは、ななめでホウセンカのたねとくらべたら大きいです。

たねをまく時は、一メートルくらい間かくをあけて一かしょに、二・三つぶずつまきました。前の日に雨がたくさんふったので、長ぐつがどろにはまって大へんでした。水路で長ぐつのどろを落としたのが楽しかったです。

夏にした草むしりは、すごく草が生えていて、むしるのが大へんでした。コスモスの葉っぱはわかったけど、ヒマワリはほかの草と見わけるのがむずかしかったです。もしかしたら草とまちがえてぬいてしまったかもしれません。終わってからかき氷をもらいました。あつかったのでつめたくてとてもおいしかったです。

花がさくころ見に行ってみたら、ヒマワリとコスモスの花がさいていました。とてもきれいだったです。

地いきの人や友だちとたねをまいたり草をむしってきれいな花をさかせられてうれしいです。これからも地いきの人たちと協力してきれいな花をさかせられるようにがんばっていきたいです。

お祭りさわぎの夏休み

伊勢崎市豊受地区　三ツ橋町子ども会　四年　新井　琉希亜

小学二年生の夏、今年も楽しみにしている「伊勢崎祭り」があります。

今年はお父さんが、町内のおはやし保存会に入った事もあり、ぼくもお父さんと一緒におはやしの太鼓や笛の練習を六月から始めました。一年生の時は、初めてのおはやし練習で最初は「きんちょう」と「不安な気持ち」で参加したけど、上級生や役員さんにやさしく教えてもらいとても楽しくなりました。上級生の人たちは、とても上手でカッコ良くぼくも「上手になりたい」と思いました。

でも実際に練習を始めると、太鼓が上手にたたけません。そこでぼくは家でゲーム機の太鼓を使って、お父さんと一緒に何度も何度も練習して「さんてこ」の「地ばやし」や「転がし」が、たたけるようになり、町内練習の最後の日には楽ふを見ないでたたけるようになりました。八月十日、伊勢崎祭り本番当日。特に今日は暑く感じました。はっぴを着て豆しぼりをしめて、いよいよ三ツ橋町の台車に乗って出発です。みんなで順番に太鼓をたたき、ついにぼくの順番がきました。

「テレスク・テンスク・テンスクス」おはやしのリズムに合わせて太鼓をたたき、一生けん命、力一杯たたき、おでこから流れる汗で目がいたい。お祭り会場につくと他の町内のおはやしの台車が集まり「ドンドン・ピーヒャラ」と、とてもにぎやかです。最後に本会場でみんなの前でたたきます。まわりの人に見られていて「きんちょう」してリズムがズレてしまいましたが上級生のかけ声に助けてもらい上手にたたけました。

今年の夏祭りは終わってしまっ

たけど、自信を持つ事が出来たし、来年は大太鼓や笛も出来るようになりたい、練習したいと思いました。ぼくの頭の中ではいつまでも太鼓のリズムが鳴り続け、その日の夜はなかなかねむれませんでした。

楽しい夏休みももうすぐ終わり。残っている宿題を考えると頭の中もお祭りさわぎです。

がんばった　はい品回しゅう

富岡市丹生地区　丹生子育連　四年　金井　楓

わたしは、今年の五月に子育連のはい品回しゅうにさんかしました。昨年はコロナではい品回しゅうができませんでしたが、今年はできて良かったです。

わたしには五才年上のお姉ちゃんがいます。お姉ちゃんが小学生の時、わたしは小学生になっていなかったけど、家族といっしょに回しゅうにさんかしたことがありました。お姉ちゃんたちは大きな声であいさつをして、重たい新聞紙や本のたばやダンボールを一生けん命運んでいました。その時はわたしは小さかったのであまりお手伝いができませんでした。だけど、今のわたしは小学生なので、元気良く大きな声であいさつをして、重たい荷物をがんばって運びました。暑くてのどがかわいてたいへんだったけど、お父さんとお母さんといっしょに一生けん命運びました。

近所のおばさんに、

「ごくろうさま。」

と言われて、すごくうれしかったです。いっぱい歩いてつかれていたけど、とてもうれしい気持ちになりました。

わたしの住んでいる所は小学生の人数が少なくなってきていて、わたしたちがまわる場所がふえてきています。でも、いつも他の地区の人たちがお手伝いに来てくれるので、お父さんもお母さんも

「助かるね。」

と言って、よろこんでいます。わたしもうれしいです。

はい品回しゅうはつかれるけど、次回も一生けん命がんばりたいです。

灯篭に願いを込めて

前橋市笂井町子ども育成会　五年　小暮　浩輔

ぼく達の町では、年に一度、無病息災を祈って阿夫利神社に灯篭を飾る。子どもが半紙に好きな絵を描き、それを灯篭の木に貼り、真ん中にろうそくの火を灯す。この灯篭には、田んぼの水に困ったり、水不足にならないようにという願いが込められている。今年はコロナが流行していたので、希望者だけが絵を描くことになっていたけれど、ぼくはコロナが早く終息するように、また新しく家を建てたのでみんなが幸せに健康で暮らせるようにと思い、参加することにした。

ぼくは今年、ハクトウワシという鷲の絵を描いた。コロナに勝つために、強い動物を描こうと思ったからだ。ハクトウワシの鋭い目つきと、大きな翼でウイルスを追い払うよう願いながら描いた。毎年下書きなしで一発勝負で絵の具を使って力強く見えるように描く。灯篭の中にろうそくの火を灯すので、絵の具で描くと、明るくきれいに見えるのだ。失敗しないようにと思い、緊張しながら描いたけれど、上手く描けたので嬉しかった。

灯篭が飾られたその日、早速見に行った。ぼくが描いた絵は、神社の目の前に飾られていた。神社の神様とぼくの絵が一体化しているように見えて、とても感動した。地域のおじさんがぼくの絵を見て、ほめてくれた。コロナ禍だけど、おじさんたちと少しでも交流でき

たことがとても嬉しかった。

コロナで地域のイベントが中止になっている。でも、今年はこのようにイベントが少しずつ増えてきている。それも、地域の人たちが一生懸命考えて実行してくれたおかげだ。あのろうそくの明かりは、優しく灯っていた。それが、地域の人たちの優しさのように見えた。ぼくは、これからも、地域の行事に参加し、ぼくも地域の人と共に、伝統を繋げていきたい。

子供会の思い出

高崎市上佐野第1子ども会　五年　伊原　樹乃

私にとって子供会の思い出は上毛かるた大会です。二年生の時、私は団体戦に出たいと思い、地区の練習に参加しました。練習は毎週水曜日と木曜日の夜にあり、コーチが教えてくれます。コーチは早くとれる技を教えてくれたり、上手な子の対戦相手になってくれたりしました。帰りにはおかしがもらえるのでみんなそれを食べながら帰っていきました。

校区の試合当日、私は人数にあっとうされました。これが大会なんだなと改めて実感しました。最初はきんちょうしてあまりとれなかったけど、後から少しずつとれるようになりました。お昼はいろいろな学年の子としゃべりながら食べました。午後の大会が始まると、にぎやかな声が聞こえなくなり、読み手の人の声だけが、体育館にひびきわたりました。人が減り、強いチームばかり残ったせいか、楽しい気持ちがきんちょうに変わりました。それでもなんとか勝つことができ、市の大会にでれると聞くと、みんなとてもよろこんでいました。その時のこうふんは今でも覚えています。

市の大会では何試合かした後、負けてしまいましたが、市の大会にでれたことをほこりに思っています。去年はコロナウイルスで上毛かるた大会が開催できませんでしたが、今年開催したら、みんなでまた練習をして、市の大会をめざしたいです。

フラワーコミュニティに参加して

富岡市丹生地区　丹生子育連　五年　大塚　明衣

丹生地区では、地域の人といっしょに行う、フラワーコミュニティという行事があります。一回目は、ひまわりとコスモスの種をまき、二回目は、しっかりお花が育つように草むしりをします。わたしは、お友達といっしょに毎年参加しています。今年の種まきはいつもよりたくさんの人が参加していました。はじめから一列にならんで、種をまいたら一こ前にでて次の列に種をまきます。

わたしががんばったことは、バランスよくきれいにひまわりがさくように、かんかくを考えて種をまきました。コスモスは種が細かいので落とさないよう気をつけながら植えました。

二回目の草むしりは、夏にあるのであつくて大変だけれど、みんなでがんばりました。最後にもらうかき氷がつめたくておいしかったです。

コロナで行事があまりないけれど、フラワーコミュニティで友達に会えてよかったです。地域の人たちがいろいろ考えてわたしたちのためにかき氷も用意してくれました。二回目の草むしり以外にも、わたしたちの知らない所で畑の整備をしてくれているそうです。丹生がいつまでもきれいでいられるように、わたしたちはわたしたちにできることを、がんばっていきたいと思います。見守ってくれている地域の人たちへの感しゃをわすれずに、また来年もがんばりたいです。

上毛かるた

高崎市棟高子ども会　六年　内藤　みや美

子ども会活動で、最も深く私の心に残っている想い出は、上毛かるた大会でのことです。

「地域の友達と一緒に遊べるのだろうと、軽い気持ちで参加したのに、どうしよう。なんか怖い。」というのが、かるたの第一印象でした。速すぎてフダが目で追えないほどの迫力ある試合に、小一の私は圧倒されてしまったからです。しかし実際に練習に参加してみると、すぐにかるたのみりょくに心をうばわれ、上級生の真剣な姿は、「あこがれ」へと変わっていきました。

私は小一から小四まで毎年、団体戦の選手に選ばれ、大会に出場しました。団体戦は四人一組でチームを組みます。一緒に戦う仲間がいる方が心強いし、楽しさも倍増なので、私は個人戦より団体戦の方が好きです。とはいえ、夜九時頃まで続く連日連夜の練習はとても大変でした。だからチームのみんなと市大会で勝利する場面を想像し、つらい練習を乗りこえてきました。

市大会で優勝を目指した四年生の冬。準決勝まで順調に勝ち進んだものの、接戦の末負けてしまい、県大会出場の夢はやぶれてしまいました。負けが決まった瞬間、私はあふれる涙をおさえることができず、声を上げて泣きくずれてしまったのを覚えています。とてもとても悔しかった。でも、仲間も私と同じように泣いているのを見た時、初めて経験する感情がこみ上げました。夢中で取り組んだ先にしかないもの。それをどんな言葉であらわしたらよいのかわからないけれど、かけがえのない宝物となる体験でした。

現在、新型コロナの影響で、多くの子ども会活動が制限されています。小五の大会は中止になってしまい、今年もどうなるかわかりません。子ども会のみんなが、また自由にかるたを楽しめ、私が体験したような感動を味わえる日が来ることを心から願っています。それまでステイホームで上毛かるたを楽しもうと思います。上毛かるた大好き！

フラワーコミュニティ

富岡市丹生地区　丹生子育連　六年　渡邉　心絆

丹生地区では毎年、小学校の児童と保護者、地域の方々や子育連の役員さんで、ひまわりとコスモスの種を畑にまいて育てています。

今年はまず六月に種をまきました。子供も大人も校長先生も畑に一列に並び、自分の前に種をまいたら、次は前のさくに進み、また種をまくというふうにくり返しました。

二回目は八月に畑の草むしりをしました。それまでの期間も地域の方々が畑の面倒をみていてくれました。

そして、草むしりの時も、子供も大人も一列になり、自分の前の草をむしって、きれいになったら前のさくに進むくり返しです。草をむしっていくと、ひざくらいまでひまわりとコスモスが育っていました。けれど、種がきちんとまかれていなかったのか、たくさん芽が出ているところと、全然芽が出ていないところがあったので面白かったです。何より、ひまわりより草の方が多く、しかも大きく伸びていて驚きました。きっと草がひまわりの分まで栄養を取っていたのだなと思いました。草むしりのあとは、地域の方がかき氷を作ってくれてみんなで食べました。みんなで協力し頑張ったあとのかき氷は本当においしく、おかわり

もしました。朝早くて大変だったけれど楽しかったです。

フラワーコミュニティを通し、地域の方々の協力があって、きれいなひまわりやコスモスが見られているのだと実感しました。そして、地域の方々と交流を持つことで、思いやりや大切さが改めて分かりました。地域の輪が広がるので、これからもずっと続いていけばいいなと思いました。

みんなと楽しく種から育てた花がきれいに咲いてくれたらうれしいです。草むしりの時は、まだ花が咲いていなかったけれど、これからきれいな花を咲かせてくれるのが楽しみです。

子ども会を通して

甘楽町ポプラ子供会　六年　黒澤　数真

僕は、この、子ども会を通して、良いなぁと思ったところがたくさんあります。その中のいくつかを紹介します。

僕は、四年生の二学期に、転校しました。そして、だんだんと友達も増えていき、そのときに、子ども会がすごくたよりになりました。子ども会の行事で、地域の友達とも仲良くなりました。

子ども会の良い所の一つ目は、色々な年齢の人とふれあえるところです。低学年の人や、お年寄りの方など、はば広い年齢の人と親しめます。今年は、コロナのえいきょうで、そういったイベントは、なくなってしまいましたが、常に、地域の人と仲良くしておきたいです。

二つ目は、色々工夫されているところです。例えば、研修センターの、草むしり当番などです。この当番は、三日に一回、一度だけいけばいいという、予定がある人のことを考えていて、とても工夫されていると思います。このように、子ども会の人は、よく考えて行動をして、色々な対策がされているのだということが分かりました。

三つ目は、友達との絆です。一緒に行事などをしていると、自然にしゃべれるようになってきて、学校でも仲良くできます。やはり、子ども会は、友達と友達とのきょりをちぢめたりする役割があるのだと思います。そして何より、身の安全のことを考えたりと、色々手間をかけてイベントをしていて、とても感心しました。

これまでかいたことのように、子ども会では、様々な工夫や手間がかけられていて、思いやりをもって行動しているので、それを見習って自分にもできることがあるか探して学校生活に役立てていきたいです。

育成会で思い出に残ったこと

伊勢崎市豊受地区　下蓮町子ども会　中学一年　長沼　優花

私は育成会での活動でたくさんの思い出をつくりました。育成会の行事を新型コロナウイルスの影響で参加したことのない方へ、楽しかった思い出を伝えたいです。

私の中で育成会の行事で特に印象に残っているのは十二月に行われる発表会です。初めて発表会へ出たのは小学一年生でした。町内に同学年の子が一人しかいないため、発表会前は、中々話しかけられず、色々と不安がありました。しかし、発表会練習に参加するようになると、上級生の子に教えてもらったり話しかけてくれたりと、優しくしてもらえました。発表会練習は大好きになって、上級生の子も大好きになれました。そこから、優しくしてくれた上級生の子は小学校を段々と卒業していき、少しずつ入学してきた子も増えました。その下級生の子には私が教えてもらったことを、発表会練習の時に教えていきました。練習を

一生懸命している下級生が少しずつ上手になっている時は自分のことのようにうれしかったです。小学五年生の頃、ふと考えたのは、いつのまにかめんどうをみてもらっていたのがめんどうを見るようになっていたのです。その成長を感じさせてくれたのが、この発表会です。

現在、新型コロナウイルスの影響で主に小学一、二年生は育成会の行事を今まで通りにはできませんん。本当に可哀想なことをさせてしまっているような感じがします。少しでも楽しんでもらえるよう、今年の春にサブリーダーに入らせてもらいました。いつも笑わせてくれた先輩のリーダーさん、いつも優しくしてくれた町内の上級生の子にたくさんめんどうみてもらった分、今度は私が下級生のめんどうをしっかり見れるように、コロナ禍でも楽しんでもらえるよう全力で頑張っていきたいです。

子ども会に参加して

伊勢崎市豊受地区　リバータウン広瀬子ども会　中学二年　小原　凛音

私は今中学二年生です。小学生の時は、毎年子ども会の行事に参加していました。低学年の時は、高学年のお兄さん、お姉さんに教えてもらいながら、ただ楽しく参加していました。高学年になってからは、自分の事だけでなく低学年の子に教えながら活動に取り組んでいました。

たくさんあった行事の中でも、一番心に残っていることは、バンブーダンスです。六年生の発表会の時、役員の人と何をしようか考えました。いろいろなアイデアが出る中、役員の人がバンブーダンスを提案してくれました。私はバンブーダンスというのをはじめて聞いたので、どんなものか気になり、動画を見せてもらいました。その動画では、人が足踏みをしながら竹をよけて踊っていて、楽しそうだなと思ってわくわくしました。しかし実際にやってみると、最初の方はすぐ竹に引っかかってしまったり、二人や四人で一緒にするときにぶつかってしまったりして、予想以上に難しかったです。でも練習を重ねていくうちに、みんなで一緒にする時にぶつからず、スムーズに動けるようになったり、一人ずつ順番に跳ぶ時もタイミングが合うようになりました。発表会の本番では、緊張しましたが、練習の成果も出せてみんなで楽しく発表することができました。

子ども会では、みんなといろいろな行事に参加して、たくさんの思い出を作ることができました。

私の出番！　ー伝統を引き継ぐ架け橋にー

伊勢崎市赤堀地区　西久保二丁目子供会　中学三年　諏訪　晶子

私が赤堀ジュニアリーダークラブに入ったきっかけは、姉がジュニアリーダーで子ども育成会活動のお手伝いや子育連主催の上毛かるた大会などにも積極的に協力している姿を見て憧れ、私もやってみたいと思ったことです。ところが新型コロナウイルスの影響により毎年当たり前に行われていた行事が次々に中止、毎月の定例会議でさえも、ままならない状況になってしまい、とても残念です。

小学生の頃、子供会の活動で一番楽しみにしていたのは夏のふるさと祭り、赤堀夏まつりに向けてのお囃子と八木節の練習でした。

暑い中、それぞれのパートに集中し、上手に楽器を演奏できたり軽やかに踊れるようになるのが楽しかったし、熱心に教えてくださる指導者の方にとても感謝しています。中学生になってもこの練習に関わって小学生に引き継いでいけたらいいな。と思うようになりました。

「育成会役員は一年で交代だか

ら、行事がなくなると、引き継ぎが心配」と母がよく言います。二年間続けて行事がなくなると、いざ始まった時に分かる人がいなくなる可能性があるからです。私は、だからこそこれからがジュニアリーダーの出番だと思っています。子ども会が活動を行うにあたり、一緒に遊び一緒に話し合い、子供達からも親からも親しまれるお兄さんお姉さん的存在が私達の目標です。地区と育成会、子供会の架け橋となり、これからも伝統を大切にし地区を盛り立てる為に協力していきます。

いつか私達が社会人になり、働くようになった時にいたずらに「コロナ世代」なんて言う大人がいるかもしれません。その時に、「当たり前を当たり前と思わず、行事を楽しむことや感謝の気持ちを忘れない子が多い世代」という意味になるように多くの方に認めてもらえる活動をしていきたいです。

楽しむこと

伊勢崎市名和地区ジュニアリーダー　今井町子ども会　高校一年　本間　真自

「Ｊｒリーダーにとって最も大切なこと」とはなんでしょう。人によって様々な答えがあると思います。自らの職を全うする責任感、子どもたちの安全を守る注意力や対応力。そして私が最も大切だと思うのは、楽しむ心です。

ここで、私自身の体験談をいくつか、お話したいと思います。一つは、私が中学一年生のとき。初めて本格的に参加したイベントであるグランドゴルフ大会での出来事です。当時まだＪｒリーダーになったばかりの私は、テキパキと仕事をこなし東奔西走する先輩方の姿にあこがれました。そして自分も何かしなくてはと思い、待機中の子どもに対してレクリエーションを持ちかけたのですが結局あまり上手くはいきません。それも当然、そのときの私には「楽しんでもらおう」という意志がまったくなく、ただ「自分も動かなければ」という使命感のもとに活動していただけだったのです。相手が楽しそうではないのに、子どもたちが笑顔になれるはずがありません。そのときからレクリエーションやゲームをするときには、まず自分が楽しむことを心掛けるようになりました。

そして、もう一つ印象に残っている出来事があります。それは中学二年生で参加した名和キャンプでのことでした。その頃には活動にも少しずつ慣れてきて、笑顔で自分なりに楽しめるようになっていました。しかし、雨天で予定が変更になり、急遽室内レクを行うことになったとき、私はまたもやうまくレクリエーションに取り組むことができなくなってしまったのです。原因は明白でした。雨天時の予定もしっかり計画されていたにも関わらず、自分の中で備えがしっかり出来ていなかったからだと思います。ただ予定通りに楽しむだけでなく、万一のとき即座に切り換えられるよう準備をしておくことも、Ｊｒリーダーにとって大切な能力だと知ることになった出来事でした。

私がこれからＪｒリーダーとして、よりよい活動をしていくためにはまだまだたくさんのことが必要です。そのためには全力で楽しみそして教訓を得てそこから学んでいくことが必要不可欠です。だからこそ私は、これからも仲間たちや子どもたちとの関わりを通して、今よりももっと学び、楽しんでいこうと思います。

令和３年度　群馬県子連表彰

長年にわたって活動をし、多くの成果を上げている子ども会８団体、ジュニア組織１団体、指導者・育成者16名、育成組織11団体が、県子連会長表彰を受賞されました。皆様方の日頃からの取り組みに対し敬意を表します。

表彰おめでとうございます

○子ども会　８団体　　**○ジュニア組織　１団体**
○指導者･育成者　16名　　**○育成組織　11団体**

■子ども会　８団体

団　体　名	住　所	活動年数
広沢４丁目第３子ども会	桐生市広沢町	53年
伊勢崎市宮郷地区連取町子ども会	伊勢崎市連取町	58年
藪塚本町地区大原上子ども会	太田市大原町	75年
龍舞６班子ども会	太田市龍舞町	55年
西地区西本町子ども会	太田市西本町	49年
平川子ども育成会	沼田市利根町平川	56年
上野尻子ども会	安中市安中	51年
原市ニューヤング子ども会	安中市原市	30年

■ジュニア組織　１団体

団　体　名	住　所	活動年数
名和ジュニアリーダーズクラブ	伊勢崎市堀口町	59年

■指導者･育成者　16名

氏　名	住　所	活動年数
米岡　輝和	前橋市五代町	26年
横山　幸代	前橋市苗ケ島町	6年
蓼沼　雅徳	桐生市梅田町	9年
松本　明雄	桐生市川内町	6年
茂木ふみ代	伊勢崎市安堀町	17年
松嶌富士子	伊勢崎市東小保方町	5年
茂木　孝夫	沼田市屋形原町	10年
馬場　広充	沼田市東倉内町	9年

氏　名	住　所	活動年数
吉澤　康夫	館林市富士原町	5年
橋本　澄子	藤岡市中大塚	16年
中嶋　美佳	富岡市妙義町	5年
阿左美文雄	みどり市笠懸町西鹿田	22年
村岡ミド里	みどり市笠懸町阿左美	17年
高草木　浩	みどり市笠懸町鹿	14年
新井　裕二	多野郡神流町	9年
髙橋美樹也	邑楽郡千代田町舞木	5年

■育成組織　11団体

団　体　名	住　所	活動年数
広沢13区子ども会育成団体連絡協議会	桐生市広沢町	54年
伊勢崎市波志江町２丁目子ども会育成会	伊勢崎市波志江町	59年
中央町子ども会育成会	伊勢崎市中央町	49年
島村子ども会育成会	伊勢崎市境島村	27年
休泊地区子ども会育成連絡協議会	太田市龍舞町	55年
中上育成会	藤岡市中	40年
額部子ども会育成会連絡協議会	富岡市南後箇	42年
小野子ども会育成会連絡協議会	富岡市白岩	46年
吉田子ども会育成会連絡協議会	富岡市南蛇井	34年
細野土塩区子ども会育成会	安中市松井田町土塩	57年
九十九地区子ども会育成会	安中市松井田町下増田	50年

市町村の活動紹介コーナー

市町村子連では、子どもたちの育成に向けて、それぞれの地域の特徴に応じた創意と工夫ある取り組みをしています。今回は三市町村子連から取り組み状況の報告をいただきましたので、ご紹介します。

コロナ禍の中での子育連運営

桂萱地区子ども会育成団体連絡協議会（桂子連）
会長　吉野　努

桂萱（かいがや）地区は、前橋市の中心市街地の東側に位置し、西部は市街化が進み、中部と東部は田畑や住宅、団地などが混在する人口約二八〇〇〇人の地域です。地区内には、小学校四校、中学校二校、高校三校、大学一校の他、特別支援学校や専門学校などがあります。

この二年間、多くの単位育成会や子育連では、新型コロナ感染症により活動の制限や中止など運営に大きな影響を受けています。桂子連でも影響はありましたが、コロナ対策をしながら、インリーダー・育成指導者講習会、子どものための防災教室、親子工作教室（バルーンアート）、地区独自の書画展などを行いました。

これらの事業を実施できたのは、桂子連の運営上の特徴があるのではないかと考えています。

本部役員は、育成会役員経験者がほとんどで、年数の長い人が多く、中には三十年以上の人もいます。司会や受付、書画展のとりまとめ、買い出し、音響設備の設置、上毛かるた、スマイルボウリング、バルーンアート、ウォークラリーなど役員それぞれに得意分野があり、行事の時には、自発的に役割

分担され、みんなで協力しながら、それぞれが楽しんでいます。一般的には役員を負担に感じる方が多いと思いますが、役員を楽しむことが継続のコツであると感じます。また、会長である私自身もやる気のある役員のみなさんに支えられています。

二つめは、本部会議での徹底した話し合いと準備、単位育成会の協力です。前例踏襲で事務局任せにするのではなく、行事の内容やリスク管理などについて意見を交わし、知恵を出し合い、できることをできる範囲で行い、みんなで楽しむことです。親が楽しめば、子どもも楽しくなります。

そして、三つめが地域との連携です。役員歴が長いと、自治会連合会など各種団体関係者とも顔見知りになり、行事などのときに連携しやすくなります。この地域との連携が地域ぐるみの子育てにつながるのではないでしょうか。

桂子連ではこうした積み重ねがあり、このコロナ禍の中でも前向きに取り組んできました。

今後も、みんなで楽しみながら、子どもたちの健やかな成長を願い、活動していきたいと思います。

前橋市　桂萱地区の位置図

親子工作教室　11月14日（日）
バルーンアートづくり（雪だるま・リース作り）
親子で協力しながら制作

安全に多くの体験を

高崎市子ども会育成団体連絡協議会
会長　樋山　敏男

高崎市子ども会育成団体連絡協議会は市内五十八校区の育成会と本部で運営され、研修や行事などの事業を計画し、校区育成会の運営支援を行っています。

一昨年より新型コロナウイルス感染症の影響で、各事業が中止や代替行事となっておりますので、毎年計画している主な事業や取組みを紹介させていただきます。

まずは研修ですが、校区の育成会や子ども会活動を安全に楽しく行うための基礎知識を養うため、校区代表者研修、インリーダー研修を行っています。

また、子どもたちが色々な体験ができるように写生大会、スポーツ大会、かるた大会の三大行事を企画・運営しています。近年は行事に参加する子どもたちが減少しており、行事内容の見直しや変更を行い、より多くの子どもたちに

参加しやすい、参加したいと思うような行事を心がけています。

これからも、新型コロナウイルス感染症対策のため思うような活動が出来ませんが、対策をしっかりと実施し、各校区育成会や子ども会の活動支援と子どもたちが安全に参加できる行事を企画し実施していきたいと思います。

子ども会存続危機？

南玉育成会

伊藤　真

皆さんの各地域の子ども会は存続の危機に陥っていませんか？

十五年前、この南玉子ども会が、二百人超の子どもを擁しているころから関わってきましたが、令和三年度は入会が二人しかいないので子ども会はなくなりますと、前会長から連絡をもらいました。

どうやら地域に子どもはいるのに共働きの家庭に役員負担を押し付けたままという、地域を挙げての子育て支援が欠けた結果です。

親の出す結論は決まっていて、役員はやれないので「うちの子は子ども会をやめさせる」です。

このままでは、子どもが活躍する地域の風土行事も途絶えます。

これを聞き、子育てが終わった親父達が、「なんとかせねば」とお節介ながら子ども会の立て直しに乗り出しました。

（子育て終わった親父達は土日に

暇を持て余してました）

ここまでの活動を紹介します。

区役員と相談で、すべての子どもを子ども会登録して共済保険に入れるという大改革を行いました。

親が役員か何かやらされるのではとアレルギーはありましたが、会費は取らず「子ども会費＝入会＝役員やらされる」の構図を撤廃し育成会ＯＢ親父が面倒を見ます。

子ども会活動は、地域のみんなとの関わりを重視しています。

地域のボランティアの軽トラに一緒に乗り込んで廃品回収作業。

この売上が主な運営費です。

この売上でやりくりすることで将来的に継続可能な仕組みを考えながら運営のやり方で工夫して、地域のみんなが気軽に参加できる行事を計画しますが、頑張り過ぎて運営側の負担が大きくなっては本末転倒です。実施に必要な運営側要員を最初に見積もって、都合で要員不足の際は無理をせず直前でも中止するなど割と柔軟です。

子どもがいる家庭と密ではなく、学校とも無関係な育成会ＯＢなので、最も危惧した連絡網を今風にＬＩＮＥにしてみたら（この構築には全戸回覧使うなど苦労はしましたが）参加者把握や直前の変更連絡が楽に行えています。

運営責任を家庭に負わせないと知れば多くの大人も参加します。

このほかの、今年のイベントは親子が車で水辺の公園に移動して親子ザリガニ釣り大会、公民館で親子でテント泊キャンプ会、地域農家の畑を借りて育てた里芋を使ったボランティアとの芋煮会、ボランティア活動への感謝を込めたバーベキューなど、家族以外の密を避けた内容です。

コロナ対策で、マスク、手指消毒、検温、体調調査、参加行動記録も子どもがルーティンで行う仕組みを作れたので、今後も気負わずに活動していくつもりです。

安全共済会に加入しよう

安全共済会加入のお勧め

安全共済会では子ども会活動中の事故に対して共済金を給付しています。みんなで助け合うという相互扶助を主旨とした安全共済です。予期せぬ事故のためにも大人も子どもも安全共済会に加入することをお勧めいたします。

共済期間	毎年４月１日から（事業年度の）３月31日24時
共済会費	年間150円 ※５月31日までに申し込み（振込）した場合、補償は４月１日にさかのぼる。 （内訳）◎全国子ども会安全共済掛金50円【10月１日以降40円】(140円) ◎全国子ども会連合会運営費20円 ◎群馬県子連運営費80円
共済金額	死亡共済金……600万円 後遺障害共済金……７万円～600万円（後遺障害の程度に応じて） 医療共済金……医療総額の30％（健康保険適用） 【共済の額が1,000円未満は支払対象外です】
被共済加入者	加入時の年齢制限はなくなります。 ※就学前の３年以下の幼児が行事に参加する場合には、安全共済会に加入している保護者が同伴することが必要になります。

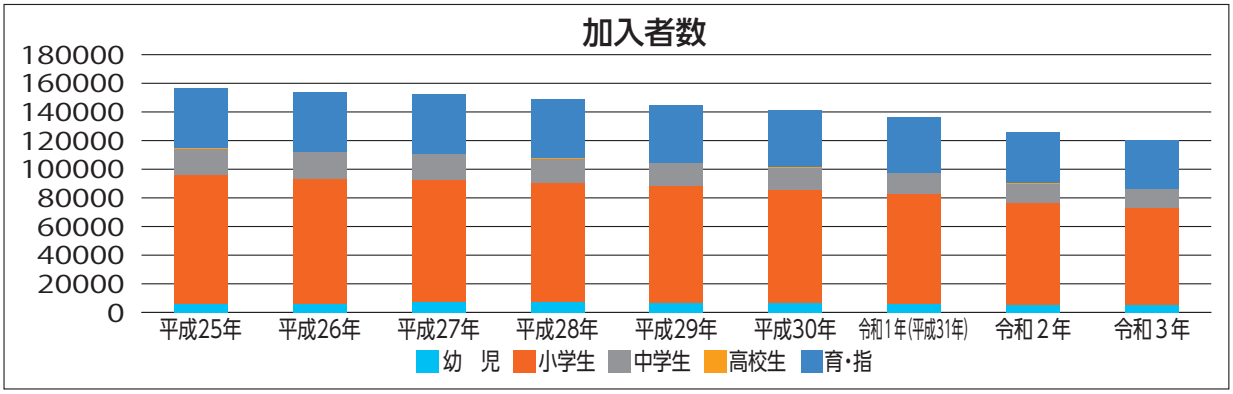
令和３年度　安全共済会加入状況

令和４年１月末現在

区分	幼児	小学生	中学生	高校生	育成者	計	単位子ども会数
加入者数	4,907	67,913	12,918	397	33,717	119,852	1,821

安全共済会加入者数推移（年代別）

年　度	幼　児	小学生	中学生	高校生	育・指	合計人数
平成25年	6,006	89,675	18,679	293	41,796	156,449
平成26年	5,661	87,333	18,684	366	41,401	153,445
平成27年	7,293	85,166	17,778	377	41,298	151,912
平成28年	7,180	82,840	17,036	393	41,303	148,752
平成29年	6,757	81,047	16,135	467	40,443	144,849
平成30年	6,391	79,153	15,290	541	39,549	140,924
令和１年（平成31年）	6,101	76,151	14,825	417	39,097	136,591
令和２年	5,404	70,691	13,494	452	35,621	125,662
令和３年（令和４年１月末現在）	4,907	67,913	12,918	397	33,717	119,852



公益社団法人　全国子ども会連合会　安全共済会加入者の皆さまへ　**2022年度版**

自転車事故によるケガや損害賠償に備える
自転車保険のご案内

傷害補償(MS&AD型)特約・自転車搭乗中等のみ補償特約セット団体総合生活補償保険

この制度にご加入いただくことで自転車保険の加入義務を果たすことになります

保険期間(ご契約期間)：2022年8月1日（月）午後4時～2023年8月1日（火）午後4時まで

- **WEB新規受付**　2022年6月30日(木)まで
- **口座振替用紙提出**　2022年7月20日(水)全子連必着
  ※WEB申込みされた方に口座振替依頼書の案内をいたします。
- **口座振替日**　2022年10月27日(木)

現在加入中の皆さまには、2022年6月頃に継続用のご案内を、ご加入者宛にお送りします。
同条件で継続する場合は手続き不要となります（自動継続）。詳しくは6月頃にお送りするご案内書をご覧ください。

WEBで簡単にご加入できます。PCまたはスマートフォンでお手続きください。

自転車搭乗中等のみ補償特約・日常生活賠償特約セット
傷害入院保険金支払対象期間・支払限度日数180日、傷害通院保険金支払対象期間180日・支払限度日数90日、免責期間0日（入院・通院）

本人型（タイプA）

被保険者	傷害死亡・後遺障害保険金額	傷害入院保険金日額	傷害通院保険金日額	傷害手術保険金	日常生活賠償保険金額（免責金額0円）	年間掛金
本人	300万円	5,000円	2,500円	入院中の手術…傷害入院保険金日額の10倍 入院中以外の手術…傷害入院保険金日額の5倍	1億円	3,470円

家族型（タイプC）

被保険者	傷害死亡・後遺障害保険金額	傷害入院保険金日額	傷害通院保険金日額	傷害手術保険金	日常生活賠償保険金額（免責金額0円）	年間掛金
本人 配偶者 親族	300万円	5,000円	2,500円	入院中の手術…傷害入院保険金日額の10倍 入院中以外の手術…傷害入院保険金日額の5倍	1億円	5,810円

※上記保険料は団体割引5%（被保険者ご本人数20名以上500名未満）で算出しています。　※上記の掛金には損害保険料の他、制度運営費400円を含んでおります。

WEB申込時に「加入者（保険料負担者）」と「被保険者（補償対象者）」をご入力いただきます。

【加入者】　18才以上の安全共済会加入者ご本人（18才未満の場合は安全共済会加入者の親）です。
【被保険者】本人型（タイプA） ①安全共済会加入者ご本人　②安全共済会加入者の配偶者、こども、両親および兄弟姉妹
③安全共済会加入者ご本人と同居している親族
家族型（タイプC） 上記①、②からお選びいただいた方を被保険者本人（注）とするご家族＊
（注）家族型（タイプC）の被保険者本人はお子さまでは無く、世帯主等からお選びください。

＊家族とは、本人および本人の配偶者、親族（本人またはその配偶者の同居の親族※1・別居の未婚※2の子）をいいます。

日常生活賠償の被保険者の範囲はタイプA・Cとも家族型（タイプC）と同じです。
日常生活賠償補償については、被保険者が責任無能力者の場合、その方に関する事故については、その方の親権者、その他の法定監督義務者および監督義務者に代わって責任無能力者を監督する親族※1を被保険者とします。※1 親族とは、6親等内の血族および3親等内の姻族をいいます。※2 未婚とは、これまでに婚姻歴がないことをいいます

－お申込みは　PC　または　スマートフォンでお手続きください－

PCはこちらから

全子連HP（https://www.kodomo-kai.or.jp）
自転車保険の申込画面へお進みいただきお手続きください。

スマートフォンはこちらから

団体コード（5ケタ）：PL5E1　を入力してログイン後、手続きください。
※申込手続画面は2022年2月開設となりますのでそれ以降にお手続きください。

（注）ＱＲコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

自転車事故が高額賠償となるケースが発生しています

事故防止の努力とともに、万が一の事故への備えがますます重要になってきました。

■自転車事故の高額賠償事例

ケース 1　判決認容額　**9,521** 万円

[事故の概要]
男子小学生（11才）が夜間、帰宅途中に自転車で走行中、歩道と車道の区別のない道路において歩行中の女性（62才）と正面衝突。女性は頭蓋骨骨折等の傷害を負い、意識が戻らない状態となった。
（神戸地方裁判所 平成25年7月4日判決）

ケース 2　判決認容額　**5,438** 万円

[事故の概要]
男性が昼間、信号表示を無視して高速度で交差点に進入、青信号で横断歩道を横断中の女性（55才）と衝突。女性は頭蓋内損傷等で11日後に死亡した。
（東京地方裁判所 平成19年4月11日判決）

※判決認容額とは、上記裁判における判決文で加害者が支払いを命じられた金額です（金額は概算額）。上記裁判後の上訴等により、加害者が実際に支払う金額とは異なる可能性があります。　出典：一般社団法人日本損害保険協会HP「自転車事故と保険」より抜粋

ご加入にあたってのご注意

■このパンフレットは、団体総合生活補償保険の概要を説明したものです。ご加入にあたっては必ず「重要事項のご説明　契約概要のご説明・注意喚起情報のご説明」をご覧ください。また、詳しくは「ご契約のしおり（普通保険約款・特約）」をご用意していますので、取扱代理店または引受保険会社までご請求ください。また、ご不明な点につきましては、取扱代理店または引受保険会社にお問合わせください。

■この保険は公益社団法人全国子ども会連合会を保険契約者とし、安全共済会加入者ご本人（18才未満の場合は安全共済会加入者の親）を加入者とする団体総合生活補償保険の団体契約です。

■団体総合生活補償保険の「ご契約のしおり（普通保険約款・特約）」、保険証券は保険契約者（公益社団法人全国子ども会連合会）に交付されます。

■ご加入時にすでに被っているケガは、告知の有無にかかわらず保険金お支払いの対象となりません。また、加入申込票記載事項　（年令・他保険加入状況・保険金請求歴等）等により、ご契約のお引受けをお断りしたり、引受条件を制限させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

■他の保険契約等の有無については、危険に関する重要な事項の告知事項として加入申込票に記入していただきます。正しく記入していただけなかった場合には、ご契約を解除することがありますのでご注意ください。

■ご加入内容の変更または継続しない旨のお申し出のない限り、前年度と同一内容（※）で継続加入のお取扱いをいたします。この場合、継続後の保険料は継続日時点の保険料率によって計算されます。
（ご注意）保険金請求事故が多発した場合などについて、ご継続を中止させていただくことがあります。

■傷害死亡保険金は、被保険者の法定相続人にお支払いいたします。
（※）傷害死亡保険金受取人は法定相続人となります。傷害死亡保険金受取人を指定される場合は、ご加入内容の変更となり、改めてお手続きが必要です。この場合、被保険者の同意確認のために書類の提出をお願いすることがあります。

個人情報の取扱いについて

本保険契約に関する個人情報について、引受保険会社が次の取扱いを行うことに同意のうえお申込みください。

【個人情報の取扱いについて】

本保険契約に関する個人情報は、引受保険会社が保険引受の審査、本保険契約の履行のために利用するほか、引受保険会社および引受保険会社グループ会社（海外にあるものを含む）が他の商品・サービスのご案内のために利用することがあります。また、上記の利用目的の達成に必要な範囲内で、業務委託先（保険代理店を含む）、保険仲立人、医療機関、保険金の請求・支払いに関する関係先、一般社団法人日本損害保険協会、他の損害保険会社、再保険会社等（いずれも海外にあるものを含む）に提供することがあります。

ただし、保健医療等の特別な非公開情報（センシティブ情報）については、保険業法施行規則（第５３条の１０）により、利用目的が限定されています。

詳細については、あいおいニッセイ同和損害保険㈱のホームページ（https://www.aioinissaydowa.co.jp/）をご覧ください。

団体保険契約者　**公益社団法人全国子ども会連合会**
〒112-0012　東京都文京区大塚6-1-14　TEL：03-5319-1741　FAX：03-5319-1744

取扱代理店
株式会社 保険代行社
〒141-0031
東京都品川区西五反田３丁目７－１４　三信ビル９階
TEL:03-6631-4366　FAX:03-6631-4367

引受保険会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
広域法人開発部営業課
〒108-8250　東京都中央区日本橋3丁目5番地19号

－事故が起こった場合は－
遅滞なく下記にご連絡ください。
あいおいニッセイ同和損保あんしんサポートセンター
0120-985-024（無料）
※受付時間[24時間365日]
※IP電話からは0276-90-8852（有料）におかけください。
※おかけ間違いにご注意ください。

（2021年11月承認）A21-102948

お　知　ら　せ

●子ども会安全啓発（ＫＹＴ含む）
初級指導者養成講習会
期日　令和４年５月22日（日）
会場　群馬県青少年会館

●定期総会
期日　令和４年６月２日（木）
会場　群馬県青少年会館

●関ブロ地区ジュニアリーダー研修会
期日　令和４年８月19日（金）～21日（日）
会場　那須町なす高原自然の家

●群馬県子ども会育成関係者研究協議会
期日　令和４年９月４日（日）
会場　群馬県青少年会館

●第28回子ども会活動体験作文コンクール
審査会
期日　令和４年９月27日（火）
会場　群馬県青少年会館

●上毛かるた審判・読み方講習会
期日　令和４年10月１日（土）
会場　群馬県青少年会館

●全国子ども会育成中央会議・研究大会
●関ブロ地区子ども会育成研究協議会
期日　令和４年10月29日（土）～31日（月）
会場　長野市芸術館

●地域青少年育成アドバイザー認定講習会
期日　令和４年11月20日（日）、26日（土）、
27日（日）
会場　群馬県青少年会館

●群馬県子連表彰式
子ども会郷土芸能伝承発表会
第28回子ども会活動体験作文発表
●群馬県子連創立60周年記念式典
期日　令和４年11月12日（土）
会場　群馬県青少年会館

●第74回上毛かるた競技県大会　抽選会
期日　令和５年１月19日（木）
会場　群馬県青少年会館

●第74回上毛かるた競技県大会
期日　令和５年２月12日（日）
会場　ＡＬＳＯＫぐんま武道館

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、県子連表彰式だけの行事に終わりました。
市町村子連の一部では内容を工夫して開催された子ども会もありました。
まだ感染収束の気配も見られずこれからも新型コロナとの闘いが続くものと予測されます。
今後も、今まで以上に皆様の御協力を頂き、進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いします。
（仁田）